※令和４年度以降入学生用

学校番号	406

令和５年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	2	2	All Aboard! English Communication Ⅰ All Aboard! English Communication Ⅱ

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

コミュニケーション英語Ⅱでは、以下記載の５領域を総合的に高めることを目的としています。
１年時に使用したAll Aboard! English CommunicationⅠのLessonに未習事項がまだあるため、引き続き使用します。Ⅰの内容を十分に理解した上で、Ⅱに進めるようにしっかり準備しよう。
１年時のコミュニケーション英語Ⅰ同様、考査以外の『授業内の言語活動』による評価の比重が非常に大きいです。「できる」「できない」はともかく、授業内でチャレンジすることが非常に大切になります。
間違いや失敗を恐れずに、前向きに英語学習に取り組んでくれることを期待しています。

２ 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第２学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	(CEFR-J [A1.3]) ○ゆっくりはっきりと発話される基本的な英文を１文聞き取ったあと、リピートすることができる。 ○ゆっくりはっきりと話されれば、自分自身や家族、学校など身の回りのことについて聞き取ることができる。	(CEFR-J [A1.3]) ○待ち合わせの時間や場所といった日常的な内容のメール文など具体的な事柄について書かれたものを読み、理解することができる。 ○簡単な語や表現を使って書かれた短い物語や身近なトピックに関する短い文章を挿絵や写真を参考にしながら理解することができる。	(CEFR-J [A1.3]) ○天候、時間、物の値段など、日常的に必要な事柄について、決まった表現や形式を用いて尋ねたり、答えたりすることができる。	(CEFR-J [A1.3]) ○前もって準備したうえで、日常的な事柄について基本的な語や表現を使って、複数の文で描写することができる。	(CEFR-J [A1.3]) ○簡単な語や基礎的な表現を用いて、身近なこと(好きなもの嫌いなもの、学校生活など)について複数の文を書くことができる。

３ 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	〈知識〉 教科書理解を含む授業内の言語活動や実際のコミュニケーションに必要な英語句や文構造、または発音等について理解している。 〈技能〉 教科書理解を含む授業内の言語活動や実際のコミュニケーションに必要な技能を身に付けている。	教科書理解を含む授業内の言語活動や、具体的な目的・場面を想定したコミュニケーション活動等において、自身の知識や技能を活用し、情報を整理したり、自分の考えを表現したりしている。	教科書理解を含む授業内の言語活動や、具体的な目的・場面を想定したコミュニケーション活動等において、自身の知識や技能を活用し、情報を整理したり、自分の考えを表現したりしようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
１学期	Lesson 6 A Funny Picture from the Edo Period	読むこと	a: 芸術品等に関する表現や語彙等を理解し、それを活用して英文の内容を読み取ることができる。 b: 読み取った情報を、端的にまとめたり要約して他者に伝えたりしている。 c: 読み取った情報を理解し、端的にまとめたり要約して他者に伝えたりしようとている。	単語小テスト 内容小テスト 観察
		書くこと	a: 自身が好きなもの等に関する表現や語彙等を理解し、簡単な文をかくことができる。 b: 自身の「好きなもの」について情報を整理し、他者に伝わりやすいように書くことができる。 c: 自身の「好きなもの」について情報を整理し、他者に伝えようとしている。	レポート課題 観察
		話すこと （やり取り）	a: 自身が好きなもの等に関する表現や語彙等を理解し、簡単なやり取りをすることができる。 b: 自身の「好きなもの」について情報を整理し、やり取りの中で他者に伝えている c: 自身の「好きなもの」について情報を整理し、やり取りの中で他者に伝えようとしている。	インタビューテスト 観察
	中間考査			
	Lesson 7 A Diary of Hope	聞くこと	a: アンネの日記に関する表現や語彙等を理解し、それを活用して英文の内容を聞き取ることができる。 b: 聞き取った情報を、自分で整理できる。 c: 英文の理解に努め、聞き取った情報を整理しようとしている。	単語小テスト 内容小テスト 観察
		読むこと	a: アンネ・フランクに関する表現や語彙等を理解し、それを活用して英文の内容を読み取ることができる。 b: 読み取った情報を、端的にまとめたり要約して他者に伝えたりしている。 c: 読み取った情報を理解し、端的にまとめたり要約して他者に伝えたりしようとている。	レポート課題 観察
		話すこと （発表）	a: 「歴史上の人物」に関する表現や語彙等を理解し、それを活用して複数の英文を書くことができる。 b: 自分が選んだ「歴史上の人物」について情報をまとめ、他者に伝えることができる。 c: 自分が選んだ「歴史上の人物」について、より詳しく調べ、発表できるように準備している。	発表 観察
	期末考査			
２学期	Lesson 8 A Door to a New Life	聞くこと	a: 「AI やロボット」等に関する表現や語彙等を理解し、聞き取ることができる。 b: 聞き取った情報を、まとめて整理している。 c: 英文の理解に努め、聞き取った情報をまとめて整理しようとしている。	インタビューテスト 観察
		読むこと	a: 「AI やロボット」等に関する表現や語彙等を理解し、それを活用して英文の内容を読み取ることができる。 b: 読み取った情報を、端的にまとめたり要約して他者に伝えたりしている。 c: 英文の理解に努め、読み取った情報を理解しようとしている。	単語小テスト 内容小テスト 観察
		書くこと	a: ものの紹介に関する表現や語彙等を理解し、簡単なやり取りをすることができる。 b: 「こんなロボットがあったらいいのに」という題材で考え、英語で端的に描くことができる。 c:　情報を整理し、他者に伝えるために書いている。	レポート課題 観察
	中間考査			
	Lesson 9 Fighting Plastic Pollution	聞くこと	a: 環境に関する表現や語彙等を理解し、聞き取ることができる。 b: 聞き取った情報を、シートや図等にまとめて整理している。 c: 聞き取った情報を理解し、シートや図等にまとめて整理しようとしている。	内容小テスト 観察

※令和４年度以降入学生用

		話すこと （発表）	a: 環境に関する表現や語彙等を理解し、決まった表現や形式に基づいて他者に伝えることができる。 b: 自身の「行きたい場所」について情報を整理し、提示資料等を活用ながら、英語でプレゼンテーションをすることができる。 c: 自身の「行きたい場所」について情報を整理し、提示資料等を活用ながら、英語でプレゼンテーションをしようとしている。	プレゼンテーション 観察
		書くこと	a: 環境等に関する表現や語彙等を理解し、それを活用して複数の英文を書くことができる。 b: 自身の「行きたい場所」と環境のかかわりについて自分の考えを英文で書いている。 c: 自身の「行きたい場所」と環境のかかわりについて自分の考えを英文で書こうとしている。	レポート課題 観察
	期末考査			
３学期	Lesson 10 Pigs from across the Sea	読むこと	a: 「海外の文化や社会」に関する表現や語彙等を理解し、それを活用して英文の内容を読み取ることができる。 b: 読み取った情報を、端的にまとめたり要約して他者に伝えたりしている。 c: 読み取った情報を理解し、端的にまとめたり要約して他者に伝えたりしようとている。	単語小テスト 内容小テスト 観察
		話すこと （発表）	a: 「海外の文化や社会」に関する表現や語彙等を理解し、決まった表現や形式に基づいて他者に伝えることができる。 b: 「海外の文化や社会」について調べ、情報を整理し、提示資料等を活用ながら、英語でプレゼンテーションをすることができる。 c: 「海外の文化や社会」について、提示資料等を活用ながら、英語でプレゼンテーションをしようとしている。	プレゼンテーション 観察
		書くこと	a: 「海外の文化や社会」に関する表現や語彙等を理解し、それを活用して複数の英文を書くことができる。 b: 「海外の文化や社会」について、自分の考えを英文で書いている。 c: 「海外の文化や社会」について、自分の考えを整理して、英文で書こうとしている。	レポート課題 観察
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度